

1. 15年4月から9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当該半期間のリレーションシップバンキング機能強化計画の個別項目毎の進捗状況は下記の通りです。

全体的な進捗状況としては、業種別審査導入による審査態勢の強化や、人材の育成、取引先企業の相談・再生支援強化のため「融資経営相談室」の設置等当該半期間はスケジュール通り進捗いたしました。

今後も当行の現状を踏まえながら、今まで以上に顧客との繋がりを強化し信頼を得るために「中小企業金融の再生」、「健全性の確保、収益性の向上等」の2つの柱からなる各項目の取組みを着実に実践していきます。

2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

| 項 目 | 具体的な取組み | スケジュール | | 進捗状況 (15年4～9月) | 備考（計画の詳細） |
|--|-------------------------------------|---------------------------|------------|---|---------------------------------|
| | | 15年度 | 16年度 | | |
| I. 中小企業金融の再生に向けた取組み | | | | | |
| 1. 創業・新事業支援機能等の強化 | | | | | |
| (1) 業種別担当者の配置等融資審査態勢の強化 | ○業種別審査導入。専門知識を習得し審査能力の向上を図る。 | ・業種別審査導入 ・専門知識の習得 | ・同左 ・同左 | ・業種別審査導入 ・知識習得のための研修等参加 | ・特定業種選定 ・担当者配置 ・業種別審査辞典活用 |
| (2) 企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的とした研修の実施 | ○「目利き研修」等を実施、人材育成を図る。 | ・「目利き研修」等の実施 | ・同左 | ・外部研修参加 ・通信教育講座受講奨励 | ・外部研修、行内研修 ・通信教育講座受講奨励 |
| (3) 産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産業クラスターサポート会議」への参画 | ○産業クラスターサポート金融会議の活用と新しい担保による融資取組勉強。 | ・会議等参加 ・新しい担保による融資取組研究 | ・同左 ・同左 | ・産業クラスターサポート金融会議等参加、情報収集 | ・情報収集 ・保証協会の取組勉強 |
| (4) ベンチャ-企業向け業務に係る日本政策投資銀行等との情報共有、協調投融資等連携強化 | ○制度融資の理解と取組推進、日本政策投資銀行等の取組研究。 | ・制度融資の勉強 ・取組研究 | ・同左 ・同左 | ・制度融資勉強会実施 ・経営革新支援法等の取組研究 | ・創業支援資金等制度融資の取組勉強会 ・情報交換 |
| (5) 中小企業支援センターの活用 | ○同センターとの情報交換し支援機能を理解し活用ができる体制を整える。 | ・支援機能の理解と活用検討。 ・情報提供 | ・同左 ・同左 | ・会議等参加、支援機能の理解と活用検討 ・しずおか産業創造機構HPリンク | ・訪問による情報交換 ・ホームページリンク |
| 2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能強化 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|-------------------------|------------|---|--|
| (1)経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備 | ○現在の仕組みや人材育成を強化する。 | ・情報提供等強化 ・人材育成 | ・同左 ・同左 | ・ビジネスレポート活用促進 ・情報ネットワーク先の見直し ・FP 資格取得奨励 | ・情報ネットワーク先の見直し ・経営情報等活用推進 ・講演会開催 ・FP 資格取得奨励 |
| (3)要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表 | (別紙様式 3-2 及び 3-3 参照) | | | | |
| (4)中小企業支援スキルの向上を目的とした研修の実施 | ○「要注意先債権等のランクアップ研修」等を実施、人材育成をする。 | ・「要注意先債権等のランクアップ研修」等の実施 | ・同左 | ・外部研修参加 ・通信教育講座受講奨励 | ・外部研修、行内研修 ・通信教育講座受講奨励 ・ノウハウの蓄積 |
| (5) 「地域金融人材育成システム開発プログラム」等への協力 | ○研修等の情報提供をする。 | ・情報提供 | ・同左 | ・情報収集 | ・情報収集 |
| 3.早期事業再生に向けた積極的取り組み | | | | | |
| (1) 中小企業の過剰債務構造の解消・再生の取り組み。「早期事業再生ガイドライン」の趣旨を踏まえた事業再生への早期着手 | ○対象企業やニーズが発生した場合に備え、当手法の研究、ノウハウの蓄積を図る。 | ・当手法の研究 | ・同左 | ・外部研修参加、取組研究 | ・他行取組状況・事例の勉強とノウハウの蓄積 |
| (2) 地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの組成の取り組み | ○当地区で地域再生ファンドが組成され、且つ当行取引先が関連する場合に備え、取組を勉強する。 | ・取組勉強 | ・同左 | ・静岡地域再生ファンド勉強会参加 | ・勉強会参加 |
| (3) デット・エクイティ・スワップ、DIP ファイナンス等の活用 | ○対象企業やニーズが発生した場合に備え、当手法の研究、ノウハウの蓄積を図る。 | ・当手法の研究 | ・同左 | ・取組研究 | ・事業再生保証制度の取組研究 |
| (4) 「中小企業再生型信託スキーム」等 R C C 信託機能の活用 | ○同上 | ・同上 | ・同左 | ・取組研究 | ・取組研究 |
| (5) 産業再生機構の活用 | ○同上 | ・同上 | ・同左 | ・取組研究 | ・同上 |
| (6) 中小企業再生支援協議会への協力とその機能の活用 | ○同センターとの情報交換によるノウハウの蓄積と活用検討。 | ・支援機能の理解と活用検討。 | ・同左 | ・会議参加、情報交換 | ・会議等参加 |
| (7) 企業再生支援に関する人材（ターンアラウンド・スペシャリスト）の育成を目的とした研修の実施 | ○「企業再生支援者養成研修」等を実施、人材育成をする。 | ・「企業再生支援者養成研修」等の実施 | ・同左 | ・外部研修参加 ・通信教育講座受講奨励 | ・外部研修 ・通信教育講座受講奨励 ・他行取組事例の蓄積と活用 |

| | | | | | |
|--|--|--|----------------|---|---|
| 4.新しい中小企業金融への取組みの強化 | | | | | |
| (1) 担保・保証へ過度に依存しない融資の促進等。第三者保証の利用のあり方 | ○キャッシュフローを重視した審査体制とモニタリング体制の整備強化と、担保・保証へ過度に依存しない融資の検討。 | ・キャッシュフローを重視した審査体制とモニタリング体制の整備強化 ・担保・保証へ過度に依存しない融資の検討 | ・同左 ・同左 | ・データ整備・蓄積による活用推進 ・担保・保証へ過度に依存しない融資の取組研究 | ・データ整備の強化 ・担保・保証の実態調査 ・基本的な考え方の研究 ・「新業務対応WG」への協力と参加 |
| (3) 証券化等に対する取組み | ○当地区で証券化の取組があり、且つニーズが発生した場合に備え、当手法の研究、ノウハウの蓄積を図る。 | ・当手法の研究 | ・同左 | ・取組研究 | ・情報収集 |
| (4) 財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資プログラムの整備 | ○財務諸表の精度が高いと認めるような仕組みの検討。 | ・仕組みの検討 | ・同左 | ・取組研究 | ・取組検討 |
| (5) 信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用について | ○現在のデータベース整備の取組強化、充実を図り信用リスク管理体制の強化を図るとともに活用を図る。 | ・データの整備・充実 ・データ活用検討 | ・同左 ・同左 | ・データの整備・充実 ・ビジネスローン検討 | ・信用リスク量の検証 ・外部データの有効活用 ・ビジネスローンの検討と開発 |
| 5.顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化 | | | | | |
| (1) 銀行法等に義務づけられた、貸付契約、保証契約の内容等重要事項に関する債務者への説明態勢の整備 | ○改正された監査指針に基づいた説明態勢の整備を図るとともに周知徹底を図る。 | ・説明態勢の整備 ・周知徹底 | ・同左 ・同左 | ・専門委員会設置、取組事項洗出、スケジュールに沿って取組実施 ・銀行取引約定書見直し | ・取組事項の洗出、スケジュールの作成、取組 ・銀行取引約定書の見直し ・研修会等 |
| (3) 相談・苦情処理体制の強化 | ○改正された監査指針に基づいた相談・苦情処理体制の整備を図るとともに周知徹底を図る。 | ・相談・苦情処理体制の整備 ・周知徹底 | ・同左 | ・「地域金融円滑化会議」参加等による情報収集 ・研修会等でコンプライアンス徹底 ・相談窓口の設置検討 ・CS向上運動実施 | ・「地域金融円滑化会議」参加、「よろず相談所」との連絡、情報収集と活用 ・相談窓口の設置 ・苦情処理手引き見直しやデータの活用 |
| 6.進捗状況の公表 | ○進捗状況の把握と公表。 | ・進捗状況公表 | ・同左 | ・計画公表 ・進捗状況把握、公表 | ・計画公表 ・進捗状況公表 |